

# ペアレント・トレーニング

(株) エスエムデイ

2025. 10月

皆さんいかがお過ごしでしょうか。やっとな秋らしく、お出かけにちょうど良い気候となってきましたね。

今月は「**子どもが危険な行動を取ったとき**」というテーマについて一緒に考えてみたいと思います。

子どもたちは、道路に飛び出すなど、その場の思いつきで行動することがあります。

そのような危険な行動に対して、大人が焦って「危ないでしょ!」と怒るだけになっていないでしょうか。

それでは、何が危険なのか子どもには伝わりません。子どもは「危険だ」と分からず行動してしまうことが多いです。



そこで、大人は「**その行動はダメだよ。〇〇してね。**」とお話ししましょう。

そして「**△△すると怪我をするから、危険だよ。**」ということを落ち着いて教えていきましょう。

たとえば、子どもが突然道路を渡ろうとしたら、

「道路に飛び出したらダメだよ。あの信号を待とうね。」と指差します。

つづけて、

「急に道路に飛び出したら、車にひかれて怪我するよね。道路は横断歩道を渡るのがルールだよ。信号が青になったら、右と左を見て、車が来ていないのを確認して渡ろうね。」



などと、具体的に正しい行動を伝えます。

正しい行動を増やし、危険な行動を減らすためには、事前に文字やイラスト、写真などを使ったカードや絵本を見せて、ルールを教えるのも良いでしょう。

危険な行動を起こしそうなきは、その都度、正しい行動を繰り返し教えていくようにしましょう。



子どもが危険な行動を取りそうなきは、  
「その行動はダメだよ。〇〇してね」とお話ししてから、  
「なぜ危険なのか」を冷静に教えましょう!